

ペラリ山(719m)へ (中日高・神威岳予定、悪天候中止にて変更)

平成 24 年 8 月 4 日(土)～5 日(日)

山岸(C L) 藤木、小山内、近藤、西田、長沼、安藤、永宮、澤田、相馬、斉藤、渡辺、笹山、計 13 名 参加

8 月 4 日

9:00 神威岳に向け、幌別出発→14:00 カムイ山荘着→溪流釣、夕食準備(調理班の見事な包丁さばきに” 変わりますか “と問いかけて止める)→16:00 夕食・B級グルメ牛丼, サラダ、釣果 2 匹のヤマメ(B級グルメ牛丼, 噂どおりの美味, サラダ, ヤマメ全て完食)→20:00 就寝

8 月 5 日

3:00 起床、外は雨、雨、雨、ペラリ山に変更決定。5:00 出発予定、しばし就寝できる人、出来ない人色々。5:05 山荘出発

7:30 ペラリ山駐車場着→7:50 林道出発、新旧 2 箇所, 熊の糞発見、山側斜面には動物の足跡多数→8:30 登山口着→9:30 山頂着、ほのかな日差し、眼下は霧の中、小さなバッタが多数。秋の気配? のどかな頂上に一等三角点、天測点あり→10:00 下山開始→10:55 駐車場着

一路帰路へ→11:40 新冠レコード館 風呂、昼食→13:00 出発→?? 幌別着。いつの日か、中日高・神威岳の再チャレンジを是非!!



参考

天測点とは天文測量を実施するために設けられた基準点です。

天測点自体は測量機器の重量に耐えうる単なるコンクリート製の観測台で、四角柱や八角柱などさまざまな形をしています。ただし、どの点にも台上部に指標鋸、側面に銘板「第何号 天測点 地理調査所」が取り付けられています。ペラリ山は第 2 号です。天文測量を実施した目的は、三角測量で求められた位置座標を規正するためでした。昭和 29 年から 5 年間、天測点を利用した天文測量が一等三角点のすぐそばで実施されています。全国 48 箇所で設置・観測がなされましたが、その後は機器の軽量化により天測点を設置することはなくなりました。(上写真は新潟弥彦山観測台、ペラリ山もほぼ同型の四角柱。ペラリ山観測台写真撮影失敗、参考までに転載。)



記録 笹山